— Akiyosidai Eco Museum 通信 —

Polje

〔ポリエ〕とは、石灰岩地域で溶食作用によってできた広い凹地、平野のことです。
秋吉台エコ・ミュージアムは佐山ポリエと呼ばれる谷あいに建っています。

2026年10月号 No.304

〒754-0302 山口県美祢市美東町赤
TEL・FAX：08396－2－2622
E-mail ： akiyosiecomuseum@yahoo.co.jp
HP：http://www.c-able.ne.jp/~mitou-14/

秋吉台　夜は長いけど、秋は短いかも・・・

10月に入ると朝夕の涼しさを感じ始め、時には肌寒さを覚えましたが、晴れた日は陽射しが強くて暑い日もあり、服装も完全な衣替えとはいきませんでした。下旬になると台風の影響もあって雨の日が続きました。三角田川の水流も久々でした。秋吉台の草原も秋の装いとなり、草の間にリンドウの青紫色の花がここかしこ。リンドウが秋の七草に入っていないのは何故。草丈の低い所ではウメバチソウの花が白い星のように見えます。色々な秋の花の中で最も目立つのはセイタカアワダチソウです。広がった群落では黄色いジュウタンのようです。いつの日か緑の秋吉台ではなく「黄色い秋吉台の秋」になる日が来るのではないかと、小心者が心配しています。



季節の花　秋を彩る花たち　それぞれの居場所で

オオバショウマ　林縁など湿気のあるところに生えるキンポウゲ科の多年草。花茎がスッと伸びて全体に大柄な感じで、薄暗い林内で出会ったときはオオッと声が出ます。猛暑が続いてようやく涼しくなった今年も出会えました。オオッと。

ヒメヒゴタイ　草原に生えるキク科の越年草。花茎は1m前後に伸びて上部で枝分かれしノアザミに似た1cmほどの紅紫色の花をたくさん付けます。草原の秋を代表する花で少し離れていても見つけることができます。

ヤマハッカ　草原や林縁などに生えるシソ科の多年草。青紫色の小さな花が、細長い穂状にたくさん付きます。花は6月頃から咲き始めますが、やはり少し涼しくなった秋の頃が最もきれいです。が、写真写りはイマイチです。







「クロヤツシロランの散策」いつか必ず・・・！

観察会「クロヤツの散策」を行いました。探して見つけて観察しようという試みです。昨年、花後に伸びた花茎を60本ほど見つけて標示していたので、それを目当てにして探すことにしました。多数で探すと見つかる可能性は高くなるはずですが、反面気づかずに踏みつけてしまう可能性も高くなります。それに注意して行動開始。標示したところは勿論、その付近を広範囲に探しましたが、見つけることはできませんでした。残念ですが、いつか必ず見つけたいと思います。





キクアザミ　草友、執念の大発見。恐るべし　GPS

数年前の情報をもとに草友たちとキツネアザミをさがしに出かけました。GPSを頼りに出発して、最初の地点では見つからず、もう一つの場所へ移動しました。大きい遊歩道に出て、しばらく行ってから、背丈ほどもある草をかき分けて道なき道を進んで行きました。出発してから3時間は過ぎました。もう少しで最終地点に到着するというところで「ありました」という声。見ると淡いピンク色のキクアザミの花がありました。咲き終わりの頃で、2～3輪が残っている感じでした。その周囲を見ると咲き終わった花茎がたくさんあります。40～50本ほど。もう少し早い時期だったら見事だったでしょう。



アサギマダラ　今年も飛来、乱舞 乱舞

花壇の手入れをしていたとき、フワッと舞い上がったものが目に入りました。アサギマダラです。今年も忘れずにやって来たのだと感動です。大きくてきれいな蝶です。人が近づき過ぎると、さりげなく離れて別の花へと移動します。あまり気にしていないようすです。初日は1頭でしたが日を追って増え、多いときで13頭までは数えました。もっとたくさん友達を連れて来て欲しいです。





11月の行事

11月14日（土）「美東ゴボウの収穫体験」
秋吉台特有の赤土で育った美東ゴボウの収穫を体験しましょう。

11月29日（日）「コウモリの観察」
洞くつで冬眠中のコウモリをそっと観察しましょう。